

● 今月のコラム

園芸は時代背景で主役の対象が変化する ～今の主役は生活者であり暮らしそのもの～



(株)JA東海グリーン 前田 悟

「昨今の園芸は先が見えない」と皆さんが言ってみえます。本当に消費者は園芸を楽しまなくなったのでしょうか？ 皆さんはどう思われますか？

江戸の元禄時代、鎖国の中では循環型の都市が形成されていた。今でいうボランティア活動しながら家のまわりは必ず掃き掃除がされていた。そんな時代に世界に誇る日本独自の園芸文化が育まれた。

聞いた話だが、幕末から明治8年までの間、園芸は途絶え暮らしの中から消えた。その後、大店の道楽として古典園芸が復活し、富裕層を中心に流行した。菊づくりなどの大衆園芸も盛んになったそうだ。

戦前、戦後から1970年大阪万博当時までは、投機的な園芸も存在した。また植木屋さんはかなり高い地位にあった。このころより、時代は高度経済成長をさらに加速し海外からの観葉植物などの導入が始まった。植木は工場緑化、公共事業で大きく産業化した。農地は宅地分譲され、農家の成金は入母屋造りの日本庭園を盛んに作り、庭石の振り売りが始まった。

オイルショックはあったものの経済成長とともにバブル期は、高級ギフト志向、大阪花博を皮切りに各地で花博が開催されるなど、世間は絶頂期。世界の大金持ちになった日本人は海外へ旅行し、海外の素晴らしい生活にあこがれた。住宅も洋風化しイングリッシュガーデンブームとなった。政府も花の消費拡大、普及を盛んに奨励し国民に仕掛けた。この仕掛けられた20年間、あまりにいろいろとやりすぎ息切れた・・・。

消費者は、ブームを経験するうちに知恵がついた。5シーズンが2シーズンになり、マーケットもピーク時の半分以上となった。このときの主役は花壇苗であった。

近年になり飽きた人々、従来の園芸をリードしてきた人々は賢くなり、踊らなくなった。海外での文化を導入したが、本物を見る目が生まれたかどうかは疑問として、足元を見直し、日本の気候に合ったものが一番大切であり、理にかなっていると堅実な流れが始まった。

時代背景は、地球温暖化、CO2排出規制などの環境意識の高まり、ロハスやスローライフなどゆったりとした時間を過ごすライフスタイル、給料が減り、可処分所得が減少・・・そんな中、家族、自宅を中心に生活する暮らし、今迄のようなドライブ、旅行、外食よりもお金を使わずに自宅で楽しむ人が増えてきた。従来の観賞の庭から、実用庭園への改造が始まった。菜園は、食べる育てると一石二鳥だ。日本番のポタジェの方向はいろんなパターンができつつある。食の安全安心、健康、年配者の憩いの場、自然を感じる、親子のふれあい、退職者の楽しみなど。今の主役は生活者であり暮らしそのものである。

先日、雑談の中で「海外の人々はそんなにお金をあまり使えない。だから家でガーデニングをする」と。日本はお金に困ると、要らないものとしてすぐに花などを買わなくなり影響が出るが、海外では優先順序が逆だ



そうだ。「園芸は産業か文化か」と題したセミナーもあったが、現在は産業としても文化としてもダメな状態にある。菊をはじめいろんな趣味家の愛好会が消滅しかかっているのは残念だ。

しかし、世界経済は混沌とし気候が温暖化が進む中にあるが、極東アジア圏は氷河時代の影響が少なく植物の種類も多い。日本の四季は、夏は熱帯から冬は寒帯、梅雨は熱帯雨林となり、温度帯も幅広く、これから日本の植物はもっと注目の的になるだろう。最近になり日本の庭木（仕立物）は輸出ブームとなり、一部の若い人が作るようになり、技術の伝承が途絶えなくなった。

これからは、業界がリードするというよりは、園芸、農業を含めて自然環境など、暮らしそのものへのかわり方に重点を置き、必要なものを提案することが大切だ。こころのあり方、暮らし方、生き様を・・・そんなことを思っている。

「百姓(?)とデキモノは大きくなると潰れる」。戒めの言葉だ。これから、しばらくは厳しい時代が続く。でも人がいる限り、園芸は今後も楽しむ人はたくさんいる。ニーズ・心を的確につかんで「自分だったらこうしてほしい」「こんなことをしたい」を提供すること。

園芸は単にあるのではなく、常に暮らしの一部であり、流行は必然的に生まれる。すべてがつながっている。

セミナー参加者募集中！

【みのもんださん推薦すずない野菜&おもしろ野菜】



日 時：2009年1月20日（火） 15：00～18：00（受付14：30～）

会 場：京都パルスプラザ5階ラウンジ（京都市伏見区）

アクセス：近鉄または地下鉄「竹田駅」→同駅西口より市バス南1、2、3系統約5分「パルスプラザ前」

※会場に駐車場はありますが、大変混雑し限りがあります。公共交通機関のご利用をおすすめ致します。

セミナー参加費：会員と会員紹介者4,000円、非会員8,000円

募集定員：100人

名刺・情報交換会：パルスプラザ内2階レストラン（18：15～19：30）

名刺・情報交換会参加費：会員・会員紹介者・非会員 2,000円

お申し込み方法：ホームページよりまたは事務局まで。受付後、請求書をFAXいたします。参加料のお振り込みをもって正式受付とさせていただきます。

◆15：00～16：30 「おもしろ野菜」

藤田 智先生（恵泉女学園大学園芸文化研究所 准教授）

◆16：40～18：00 「ポタジェガーデンを目指して何が変わるのか」

深町貴子先生（㈲タカ・グリーン・フィールズ 取締役／東京農業大学短期大学部 非常勤講師）



カエデ
kaede

2008 12 DEC. Vol.20
NPO法人ガーデンを考える会 会報

会員コラム

社長 blogより



<http://www.klark.co.jp/ceoblog/>

クラーク(株)
代表取締役社長 坂倉 弘康



FAOPMA

11月4日から6日まで東京有楽町の東京国際フォーラムで
社団法人日本ペストコントロール協会設立40周年記念事業
として、第20回FAOPMA2008Tokyoが開催されました。

<http://www.convention-j.com/faopma2008/ja/index.html>

FAOPMAとは

Federation of Asian & Oceania Pest Managers Associations
の略で、アジア太平洋地域の有害生物管理事業者団体の
国際的組織です。

元環境庁長官、元外務大臣の川口順子先生の基調講演
をはじめとして、世界各国の専門家の方々の講演や
展示会、懇親会等盛りだくさんのプログラムで国際的な
交流が深められました。

当社は社団法人愛知県ペストコントロール協会の賛助会員
として展示会に出展させていただきました。(写真参照)

当社の鳥害防止ネットのPRのほか、新しい問題提起として
サル侵入防止システムの「モンキーショック」、そして
シキボウ様開発の抗ウイルス素材「フルテクト」使用の
マスクやネットを展示いたしました。

鳥インフルエンザのパンデミックの際には民間では先頭に
立って管理にあたらねばならないペストコントロール事業者
の方々を守る方策のひとつとしてPRさせていただきました。

また、パンデミックに備えた一般事業者の方々の備蓄用
にも各地域でご紹介いただければと思います。

厚生労働省の

事業者・職場における新型インフルエンザ対策ガイドライン
は以下をご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/pdf/09-11.pdf>

kaede カエデ

ニュース・募集

バラクライングリッシュガーデン クリスマスディスプレイ・イルミネーション華やかに

現在、夢科バラクライングリッシュガーデンでは、クリスマスディスプレイが施され、夜はイルミネーションでライトアップされている（1月6日まで）。

また、12月3日～7日の期間中は、「バラクラクリスマスウィーク」としてリースやクリスマスコンテナ、クリスマスのテーブルコーディネートなどの各種レクチャーのほか、年に1度の「クリスマス5デイズバザール」などが開催される。

アドレス <http://www.barakura.co.jp/event/5days.shtml>

日比谷花壇が東海エリアの情報サイト『花・うた東海』開設

日比谷花壇（本社・東京都）は、情報サイト「東海から奏でる花と緑のハーモニー『花・うた東海』」を11月17日に開設した。

地域に密着した花と緑の情報を提供したいとの考えから、同社ではこれまで「花cafe九州」「花いろかんさい」「花さんぽ北日本」を開設しており、東海地方が4つ目の地域別サイトとなった。

主なコンテンツは、施設や観光名所の見ごろの花を紹介する「東海道中花めぐり」、生産者を訪問する「旅ねこにゃびゲーター」など。

アドレス <http://tokai.hibiyakadan.com/>

会員紹介

株式会社パワーズ・ジャパン

ドイツ生まれのセラミスグラニュー総販売元

このセラミスグラニューは、どなたでも手軽に室内園芸を楽しめ、水分の吸収・保水性に優れ、また無菌無臭のため安全で清潔な室内園芸専用開発された培養土で、国内でも消費者～生産者まで幅広く愛用していただいている商品です。

お問い合わせ

〒333-0801 埼玉県川口市東川口3-3-36 ハイツ美和403号

TEL 048-456-8731 FAX 048-456-8733

URL <http://seramis.jp>



事務局だより

ガーデンを考える会
事務局
TEL 052-571-7911
FAX 052-571-2208

関東地区会員、座談会&交流会の開催決定！

2009年2月13日（金）午後～ 浅草橋
業界の未来を担う若者達が熱く語る！

※詳細は追ってご案内いたします